

愛知県名古屋市方言の否定の表現

太田 有多子

I. はじめに

1. 調査対象地：名古屋市は愛知県西部、濃尾平野の中央に位置し、伊勢湾に面している。江戸時代より商業都市として栄えており、東海地方の中心地で、人口は1994年現在215万余人である。名古屋市の中心地は太平洋戦争の戦禍に遭い、そこで使われていた「上町の言葉」はほとんど消滅し、現在は主に市内でも農村部だった地域の言葉が名古屋の言葉として使われている。
2. 調査年月日：1994年9月29日
3. 話者：平林信子 大正14年7月14日生まれ
名古屋市中区（旧呉服町）生まれ
（23歳～昭和区在住）
4. 調査者・調査場所：太田有多子・話者宅
5. 調査方法：配布の調査票に基づく質問法による面接調査
6. 表記方法：①特殊な音声表記；ア₁ー←[æ:] オ₁ー←[ø:]
ウ₁ー←[y:] ②アクセント表記；「 〴 〵 ③（ ）；
話者の内省報告 ④〈 〉；調査者の注記 ⑤（最多）話
者がもっとも多く使う表現 （多）話者が多く使う表現
（少）話者が使うこともある表現 （聞）話者自身は使わ
ないが知っている表現 （標準語）話者が標準語ととらえ
ている表現 （古）昔よく使った表現 （古老）現在の老
年層よりも上の年代の人が使った表現 （若）若年層が使
う表現 （男）男性言葉 （女）女性言葉 （丁寧）改ま
った場面で使う表現 （ぞんざい）くだけた場面で使う表
現 （上町）かつての名古屋上町で使われた表現 （花柳
界）芸者ことば （名古屋農村部）名古屋市内のかつての
農村部で使う、または使った表現

II. 調査結果

1. 行かない ○「ア」メガフ「リソーダデ」キョ「ー」ワドッ「コ₁ー」モ
（①イ「ケ」セン「ワ」ー（多）／②イ「カン」）
2. 降らないよ ①「ア」メワ「フ」レセン「ニ」ー（多）／②「ア」メ
ワフ「ラ」ンヨ
3. 行きません ○「キョ」ーワドッ「コ₁ー」モ（①イ「ケ」シマ「セ」
ン（多）／②イ「キ」シマ「セ」ン）
4. 行きはしない ○「キョ」ーワドッ「コ₁ー」モ（①イ「ケ」セン「ヨ
」／②イ「キャ」ーセンニ（聞、名古屋農村部、第三者のことにも
使う））
5. いらっしやらない ○「キョ」ーワドッ「コ₁ー」モ（①イ「カレ」ー
セン／②ユ「カレ」ーセン／③ユ「カレマセ」ン／④ユ「カレナ」

イ／⑤イ「カレナ」イ／⑥イ「カレシマセ」ン（古）}

《イカレ～とユカレ～の区別はあいまいだが、ユカレ～の方が改まりの場面で多く使う》

6. 行かなかった ○「キョ」ーワードッ「コー」モ {①イ「カナ」ンダ (多) / ②イ「カンカ」ッタ (聞、若) }
7. 行きはしなかった ○「キョ」ーワードッ「コー」モ {①イ「ケ」セ「ナ」ンダワ (多) / ②イ「キ」ワシ「ナ」ンダ / ③イ「キ」ワセ「ナ」ンダワ / ④ユ「キ」ワシ「ナカ」ッタ }
8. 行くまい ○「ア」メガフ「リソダデ」ドッ「コー」モ {①イ「ケ」セン (多) / ②イ「クマ」ー (古) / ③イ「カン」 (ぞんざい、男が多) }
9. 出まい ○「ア」メガフ「リソダデ」キョ」ーワードッ「コー」モ {①「デ」ーセン / ②デ「ン」 (聞、男) / ③デ「マ」ー (聞、古老) }
10. (何も) すまい ○「キョ」ーワナ「ーンニ」モ {①「セ」ーセン (多) / ②「シ」ーセン / ③ヤ「レ」セン / ④セ「ン」 (女) / ⑤ヤ「ラン」 (ぞんざい) / ⑥ス「マ」ー (古) / ⑦シ「マ」ー (聞、古老) }
11. 降らないだろう ○「キョ」ーワタエ「ーテー」ア」メ {①「フ」レセン「ダ」ロ「ー」 (多) / ②フ「ラマ」ーニ (聞、名古屋農村部) }
12. 降るにちがいない ①ア「シタ」チ「ガ」ーノ「ー」ア」メ「フ」ルダロニ (多) / ②ア「シタ」チ「ガ」ーノ「ー」フ「ル」ニ / ③ア「シタ」ワキッ「ト」ア」メ「フ」ルニチ「ガ」ーナ「ー」ニ
13. 来ない ○「キョ」ーワダ「ーレ」モ {①ゴ「ザ」レセンニ (多) / ②「コー」セン (ややぞんざい) / ③「コ」ンニ (聞、男) / ④「コ」ヤセン (聞、若) / ④「キ」ーセン (聞、若) }
14. 来はしない ○「キョ」ーワダ「ーレ」モ {①ゴ「ザラッセ」センニ / ②キ「ヤ」ーセンニ (聞) / ③「キャ」ーセン (聞) }
15. 来なかった ○「キョ」ーワダー「レモ」 {①ゴ「ザラナ」ンダ (多) / ②コ「ナ」ンダヨ / ③コ「ンカ」ッタ (聞、若) }
- * 来はしなかった ○「キョ」ーワダー「レモ」 {①ゴ「ザラッセ」(ン)ナ「ンダ」 / ②ゴ「ザラッセ」ナ「ンダ」 (古) / ③コ「ー」セナ「ンダ」 (古) / ④「キ」ヤセ「ナ」ンダ (聞、名古屋農村部) / ⑤キ「ヤ」ーセ「ナ」ンダ (聞、名古屋農村部) }
16. 見ない ○「キョ」ーワダ「ーレ」モ {①「ミ」ーセン (多、ぞんざい) / ②ミ「カケ」ーセン / ③「ミ」ンニ (少、ぞんざい) / ④ミ「カケマセ」ン「ナ」モ (古、丁寧、上町) / ⑤ミ「カケシマセ」ン (古、丁寧、上町) / ⑥オ「ミカケシマセ」ンワ「ナ」モ (古、丁寧、上町) / ⑦オ「ミカ」キャシ「マセ」ンワ「ナ」モ (古、丁寧、上町) }

* 見なかった ①「ミ」ーセ「ナ」ンダ(最多) / ②ミ「カケ」ーセ「ナ」ンダ(多) / ③ミ「カケマセナ」ンダ(古、丁寧) / ④オ「ミカケ」シ「マセ」ンデシタ(上町)

- 17, 居ない ○「キョ」ーワダ「レ」モ (①オ「ラッセ」ン(多) / ②オ「ラッセ」ーセン(多) / ③オ「ラ」ン(ぞんざい、男が多) / ④ゴ「ザラ」ン(古) / ⑤オ「ラ」ッセシ「マセ」ンワ「ナ」モ(聞、古老、丁寧) / ⑥イ「リャ」ッ「セ」セン(聞、花柳界))
 《オランは女性の場合、自分のことに対して使うことが多い》
- 18, 行かずに ○ド「コエ」ーモ (①イ「カー」ント / ②イ「カ」ズト(聞、古老) / ③ユ「カ」ズト(聞、古老) / ④イ「カ」ーンデ(聞、名古屋農村部)) ウ「チ」ニ「オ」ル
- 19, 行かなくても ○ワ「ザート」 (①イ「カン」デ「モ」(多) / ②イ「カ」ズト「モ」(古) / ③イ「カ」ーデモ(聞)) 「エ」ーガネ
 《ワザートは「わざわざ」の意》
- 20, 行かなければ ○ワ「ザート」 (①イ「カ」ズニオ「キャ」ー (多) / ②イ「カ」ズニオ「キャ」 (多) / ③イ「カ」ント「キャ」 / ④イ「カナ」ンダラ / ⑤イ「カ」ニャ(聞、名古屋農村部) / ⑥イ「カナ」ケリャ(一)(聞、名古屋農村部) / ⑦イ「カナ」キャ(聞、標準語)) ヨ「カ」ッタ
- 21, 行かねば ○ド「ーシテ」モ (①イ「カ」ナ(多) / ②イ「カナ」ケリャ(一)(聞、名古屋農村部) / ③イ「カ」ニャ(聞、名古屋農村部) / ④イ「カ」ニャー(聞、名古屋農村部) / ⑤イ「カナ」キャ(聞、標準語)) ナ「ラ」ン
- 22, 行かねばならない ○ド「ーシテ」モ (①イ「カ」ナ「カン」デ(多、ぞんざい) / ②イ「カ」ンナ「ラ」ン(多、やや丁寧) / ③イ「カ」ナ「ア」カンモ「ン」ダデ(聞、名古屋農村部、男) / ④イ「カナ」ケリャーナ「ラ」ン(聞、名古屋農村部) / ⑤イ「カ」ニャーイ「カ」ン(聞、名古屋農村部) / ⑥イ「カ」ニャーナ「ラ」ン(聞、名古屋農村部) / ⑦イ「カナ」キャナ「ラ」ン(聞、標準語))
 《イカナカンのカンはイカン(女が多)、アカン(男が多)の略》
- 23, ~ズ ①「キョ」ーワド「コエ」ーモイ「カズ」ダッタ「ン」ダワー
 ②「キョ」ーワダ「レ」ニ「モア」ワズ「ダ」ッタ「ン」ダワ
 《~ズも使うが、それよりもイカナンダッタ「ン」ダワやアワナンダッタ「ン」ダワをよく使う》
- 24, 行きもせず~来もしない ①コ「チカラ」イ「キ」モ「セ」ーセンシ「ア」ッ「チカラ」 (①「キ」モサ「セ」セン「デ」(多) / ②「キ」モセン / ③「キ」モ「セ」ーセン / ④ゴ「ザ」レセン)
 ②コ「チカラ」イ「キ」モ「セ」ンシ「ア」ッ「チカラ」 (①「キ」ーモサ「セ」セン(多) / ②「キ」ーモ「セ」ン(多) / ③「キ」モ「セ」ーセン)

25. 行くか行かないかわからない ○ア「シタ」モ {①イ「ク」カイ「カンカ」ワ「カ」レセン (多) / ②イ「ク」カイ「カンカ」ワ「カ」レセンデ / ③イ「ク」カイ「カンカ」ワ「カラ」ン / ④イ「ク」カイ「カナ」イカワ「カンナ」イ (聞、若年、女)}
26. 無い ①コ「ンナケ」ンシカ「ナ」ーデ (多) / ②コ「ンナケ」シカ「ア」レセン
27. 無いねえ ○コ「トシミ」ターナアッ「ツィー」ト「シ」ワ {①「ナ」ー「ネ」ー / ②「ア」レセン「ネ」ー}
28. ありはしない ○コ「トシミ」ターナアッ「ツィー」ト「シ」ワ {①「ア」レセン「ニ」ー (多) / ②「ア」リャー「センニ」ー (聞、名古屋農村部)}
29. 無かったねえ ○コ「トシミ」ターナアッ「ツィー」ト「シ」ワ「ア」レセ「ナ」ンダ「ネ」ー
30. ありはしなかった ○コ「トシミ」ターナアッ「ツィー」ト「シ」ワ {①「ア」レセ「ナ」ンダ / ②ア「リャ」ーセ「ナ」ンダ (聞、名古屋農村部)}
31. 無いだろう ○コ「トシミ」ターナアッ「ツィー」ト「シ」ワ {①「ナ」ーダローニ (多) / ②ナ「カロ」ーニ / ③ア「ラ」スカ (ぞんざい、強調) / ④ナ「カロマ」ーニ (聞、古、男) / ⑤「ナ」ージャローニ (聞、名古屋農村部) / ⑥ア「ロマ」ーニ (聞、古、名古屋農村部)}
32. 無ければ ○アッ「ツィー」ナ「ツ」ナンカ {①「ナ」キヤー (多) / ②ナ「ケ」リャー / ③ナ「ケニャ」ー (聞、名古屋農村部)} 「エ」ーノニ
33. 暑くない ○「アーンマリ」キョーワ「ア」ツ「ナ」ーデ「ネ」ー
34. 暑くはない ○「アーンマリ」キョーワ {①アッ「ツィー」コトワ「ナ」ー (多) / ②ア「ツィー」ワ「ナ」ー「ネ」ー}
35. 暑くなかった ○ア「ンマリ」キョーワ「ア」ツナ「カ」ッタ
36. 暑くはなかった ○ア「ンマリ」キョーワ {①アッ「ツィー」コトワナ「カ」ッタ (多) / ②ア「ツィー」ワ「ナ」カ「カ」ッタ}
37. 暑くないだろう ○ア「シタ」モ {①「ア」ツ「ナ」ーダロー / ②ア「ツィー」ナ「カロ」ーニ (聞、男)}
38. 涼しくない ○ア「ンマリ」キョーワ {①ス「ズ」シュ「ナ」ー「ネ」ー (多) / ②ス「ズ」シ「ナ」ー「ネ」ー (多)}
39. にぎやかでない ○ア「ンマリ」 {①ニ「ーヤカ」シ「ナ」ー (多) / ②ニ「ギヤカ」シ「ナ」ー / ③ニ「ギヤカ」シュ「ナ」ー (聞、古老)}
40. にぎやかではない ○「アーンマリ」 {①ニ「ーヤカ」デ「ナ」ー / ②ニ「ギヤ」カデ「ナ」ー}
41. にぎやかでなかった ○ア「ンマリ」ニ「ーヤカ」シナ「カ」ッタネ

- 4 2, にぎやかではなかった ○ア「ンマリ」ニ「ーヤカ」デナ「カ」ッタ
- 4 3, にぎやかではなからう ○「マー「マ」エミタ」ーニニ「ーヤカ」シナ
「カロ」ーニ
- 4 4, 花ではない ○ア「レワ」ハ「ナ」デ「ナ」ー
- 4 5, だめだ ○イッ「クラ」ヤッ「テ」モ {①ア「カンワ」ー(多) / ②
イ「カンワ」ー / ③「ダ」チャカン}
- 4 6, だめな ①ア「ノ」シトワイ「カンネ」ー / ②ア「ーツワ」ダ「チャ
カンヤ」ツ「ダニ(聞、男)
- 4 7, つまらない ①ド「ーデモエ」ーコトイ「ヤ」ースナ(多) / ②ロ「
クデモナ」ーコトイ「ヤ」ースナ / ③ツ「マラ」ンコトイ「ヤ」ー
スナ / ④ヤ「クタエーモナ」ーコトイ「ヤ」ースナ(聞、古、名古
屋農村部) / ⑤ショ「ームナ」ーコトイ「ヤ」ースナ(聞、古、名
古屋農村部)
- 4 8, いけない ○イッ「テカン
- 4 9, 行カレン 《無回答》
- 5 0, 行くな ①イ「カントキャ」ー(多) / ②イッ「テカン / ③イ「カン
トケ(聞、男)
- 5 1, するな ○「ワ」ルサス「ルデナ」ー
- 5 2, 行くもんではない ○ソ「ーンナトコ」エ {①イ「カンガエ」ー(多)
 / ②イ「クモ」ンデ「ナ」ー(多) / ③イ「カンホ」ーガ「エ」ー
 / ④イ「クモ」ンジャー「ナ」イ / ⑤イ「ク」ンデ「ナ」ー / ⑥イ
「ク」ンジャー「ナ」イ}
- 5 3, たまらない ○「ア」ツテ {①「カンワ(多) / ②ナ「ラ」ンワ / ③
タ「マランワ」ー / ④カ「ナワ」ン / ⑤ヤ「リキレ」ーセンワ / ⑥
ヤ「リキレ」ーセンデ「カンワ」ー / ⑦ヤ「リキレ」ン(聞、男)}
- 5 4, しかたがない ○「ア」メガヤ「ムノ」オマッ「ト」ツテモ {①ショ
「ーナ」ー / ②シ「カタナ」ーワ「ネ」ー / ③ショ「ームナ」ー
デ(聞、古老) / ④ショ「ーコトナ」ーデ(聞、古老) / ⑤シャ「
ーナ」ー(聞、若年)}
- 5 5, 楽ではない ○「ト」ークマデア「ル」クノワラ「ク」デ「ナ」ー
- 5 6, 歩きたくない ○「ト」ークマデ {①ア「ルキ」トモ「ナ」ー(多、
古) / ②ア「ルキ」ト「ナ」ー(古) / ③ア「ルキ」タ「ナ」ー}
- 5 7, 大丈夫だ ○シ「ンパーセ」ンデモ「タ」ーシタコト「ナ」ー
- 5 8, いや {①「イ」ー「エ」ー / ②「イ」ヤ(聞) / ③イ「ンヤ」(聞、
名古屋農村部)} 「フ」レセ「ナ」ンダニー
- 5 9, いや(強い否定) ○「イ」ーエ「フ」レセ「ナ」ンダニー
- 6 0, いいえ ○「イ」ー「エ」ー「フ」レシ「マセ」ンデシタニー
- 6 1, いや(否定問いに対する応答)
(1) 「イ」ーエ「フ」ッタヨー

(2) 「ホ」ン「フ」レセ「ナ」ンダヨー

- 6 2. どういたしまして ①「イ」ーエド「ーシマ」シテ(多) / ②ト「ン
デモナ」ード「ーシマ」シテ(多) / ③ト「ンデモナ」ー「ナ」
ンノオ「カマ」ェーモ「イ」タシマセ「ンデ(丁寧)」 / ④イー「エ」
ノー「ナ」ンノオ「カマ」ェーモシマセ「ンデ(やや古、やや丁寧)」
 / ⑤「ナ」ーンノ「ナ」ーンノ(古)
- 6 3. できない ○ワ「タシ」ワ { ①デ「キ」ー「セン(多)」 / ②デ「キ」ン
 / ③ヨ「ーセン」 / ④「デ」キセン(強調) }
*可能表現: ワ「タシ」ワ { ①ヤ「レル(多)」 / ②デ「キ」ル }
- 6 4. 読むことができない(状況) ○ク「ラ」イデシ「ンブンガ」 { ①ヨ
「メ」レ「ーセン(多)」 / ②ヨ「マ」レセン(古) / ③ヨ「マ」レ「ー
セン(古)」 / ④ヨ「マ」レシ「マセ」ン(古、女、丁寧) / ⑤ヨ「
メ」レ「ン(ぞんざい)」 / ⑥ヨ「ンドラ」レセン(古、女) / ⑦ヨ「
ンドラ」レン(聞、古、男) / ⑧ヨ「メ」ラ「レセン(聞)」 / ⑨ヨ「メ」
「ン(聞、男)」 / ⑩ヨ「メ」レセン(聞、古老) / ⑪ヨ「マ」レ「ン
(聞、古老、男) }
*可能表現: シ「ンブンガ」ヨ「メ」ル
- 6 5. 読むことができない(能力) ○シ「ンブン」オ { ①「ヨ」ー「ヨ」マ「
ン(多)」 / ②「ヨ」ー「ヨ」メセン }
*可能表現: シ「ンブンガ」ヨ「メ」ル
- 6 6. 出られない(心理的状況) ○コ「ンナ」ハ「デ」ナ「フ」クキテマ
「チ」 { ①「ヨ」ー「デ」ンワ(最多) / ②デ「レ」ー「セン(多)」 /
③デ「ラ」レ「ーセン」 / ④デ「ラ」レカ「スカ(ぞんざい、強調)」 / ⑤
デ「レ」カ「スカ(ぞんざい、強調)」 / ⑥デ「ラ」レ「セン(聞、古老)」
 / ⑦デ「ラ」レ「ン(少、若が多) }
- 6 7. 食べられない ○コ「ノキ」ノコワ { ①タ「ベ」レ「ーセンワ(多)」 /
②タ「ベ」ラ「レ」ーセンワ / ③タ「ベ」レ「ンワ」 / ④タ「ベ」ラ「レセン
(聞) }
- 6 8. 食べることができない ○イ「ソガ」シテヒ「ルメシ」モ { ①タ「ベ」
レ「ーセン(多)」 / ②タ「ベ」ト「レ」ーセン(多) / ③タ「ベ」ラ「レ」
ーセン / ④タ「ベ」レ「ン」 / ⑤タ「ベ」ト「ラ」レセン / ⑥タ「ベ」ラ「レ
セン(聞) }
- 6 9. 知るものか ○ホ「ンナ」コ「ト」ワ「タシ」 { ①シー「ランガ」ネー
(多) / ②シ「ル」モ「ンカ」 / ③シー「ラ」スカー / ④シ「ラ」スカ
(強調) }
- 7 0. 誰が行くものか ○「ホ」ーンナト「コ」ェーダ「ーレガ」 { ①イ「ク」モ「
ンダ」ネー(多) / ②イ「ク」モ「ンダ(聞、男、多)」 / ③イ「ク」モ「
ンカ(聞、男)」 / ④イ「ク」カ(聞、男) / ⑤イ「カ」スカ(聞、
男) / ⑥イ「コ」カ(聞、男、名古屋農村部) }
- 7 1. 何で行くか(行くものか) ○ソ「ンナト」コ「ー」ナ「ンデ」 { ①イ「

クモ^ㇿンダネー／②イ^ㇿクモ^ㇿンカネー／③イ^ㇿコ^ㇿカ（聞、男、名古屋農村部）／④イ^ㇿコ^ㇿーニー（聞、男、名古屋農村部）／⑤イ^ㇿカ^ㇿナイ^ㇿカンノ^ㇿー（さらに強要された場合）

7 2. なんで恥ずかしいものか（なんで恥ずかしからるか）

①「ホーンナ^ㇿモンハ^ㇿズカ^ㇿシ^ㇿナ^ㇿーニ（多）／②「ドーシテ^ㇿハ^ㇿズカシ^ㇿー^ㇿモ^ㇿンカ／③「ドーシテ^ㇿハ^ㇿズカシカロ^ㇿーニ

（ナーンデよりドーシテをよく使う）

7 3. 行かないでおるものか（行くとも） ①ユ^ㇿカズ^ㇿニオ^ㇿケ^ㇿセンニ（多）／②イ^ㇿカズ^ㇿニオ^ㇿケ^ㇿセンワ／③ユ^ㇿカンデ^ㇿオ^ㇿカンニ／④イ^ㇿカ^ㇿイデカ（聞、男）

7 4. やれるか ○ソ^ㇿレ^ㇿガオ^ㇿマ^ㇿーサンニ^ㇿヨ^ㇿーヤ^ㇿレル^ㇿー^ㇿウ

7 5. シテイラン（シテイランは話者自身聞くことはあるが、使用せず）

○ソ^ㇿーンナニ^ㇿヤ^ㇿナラ {①ヤッ^ㇿテマワンデ^ㇿモ^ㇿエ^ㇿーワ（多）／②シ^ㇿテマワンデ^ㇿモ^ㇿエ^ㇿーワ}

7 6. 少しもはかどらない ○ア^ㇿツテシ^ㇿゴトガ^ㇿ {①イッ^ㇿコーニ^ㇿ（多）／②チッ^ㇿト^ㇿモ（多）／③チョッ^ㇿト^ㇿモ} {①ハ^ㇿカ^ㇿガイ^ㇿカンワ^ㇿー（多）／②ハ^ㇿカ^ㇿガイ^ㇿケ^ㇿセンワ^ㇿナ^ㇿー／③ハ^ㇿカドラ^ㇿンワ^ㇿネ^ㇿー}

7 7. ぜんぜんできていない ○シ^ㇿゴトガ^ㇿ {①マ^ㇿルッキリ^ㇿ（多）／②イッ^ㇿコーニ^ㇿ（古、多）／③マ^ㇿルデ^ㇿ／④サッ^ㇿパ^ㇿリ／⑤チ^ㇿッ^ㇿト^ㇿモ^ㇿ／⑥「ゼーンゼン^ㇿ」} {①デ^ㇿキト^ㇿレセン（多）／②デ^ㇿキトラ^ㇿン}

7 8. いっこうに降らない ○ア^ㇿメガ {①イッ^ㇿコーニ^ㇿ（多）／②マ^ㇿルッキリ／③チッ^ㇿト^ㇿモ／④チョッ^ㇿト^ㇿモ／⑤サッ^ㇿパ^ㇿリ／⑥「ゼーンゼン」^ㇿフ^ㇿレセンニ

7 9. あまり降らない ○コ^ㇿトシモ^ㇿア^ㇿメガア^ㇿンマリ^ㇿフ^ㇿラ^ㇿンワ^ㇿネ^ㇿー

8 0. （予想外に）たくさん ○イ^ㇿモア^ㇿケラケナ^ㇿー^ㇿト^ㇿレ^ㇿタ

8 1. いいではないか ○ワ^ㇿザート^ㇿイ^ㇿカンデ^ㇿモ^ㇿエ^ㇿーデ^ㇿナ^ㇿー^ㇿア

8 2. いいのではないか ○ワ^ㇿザート^ㇿイ^ㇿカンデ^ㇿモ^ㇿエ^ㇿー^ㇿンデ^ㇿナ^ㇿー^ㇿア

8 3. いいかもしれない ○ワ^ㇿザート^ㇿイ^ㇿカンデ^ㇿモ^ㇿエ^ㇿー^ㇿカモ {①シ^ㇿレンニー（多）／②ワ^ㇿカラ^ㇿンニ}

8 4. 行かないか ○イッ^ㇿショニ^ㇿ {①イ^ㇿコマ^ㇿー^ㇿカ（多）／②イ^ㇿケ^ㇿセン^ㇿ／③イ^ㇿカン^ㇿ}

8 5. くないか ○コ^ㇿレ^ㇿモッ^ㇿテ {①マエン^ㇿ（多）／②クレセン^ㇿ／③クレン^ㇿ}

（～カを付けると男言葉になる）

- 8 6. くれませんか ①コ「レ」モッ「トッテマエ」ンカネ／②コ「レ」モッ「トッテチョーダエ」ンカネ（聞、古老、上町、同等～目上に使う）／③コ「レ」モッ「テチョーダエ」ンカ「ナ」モ（聞、古老、上町、同等～目上に使う）／④コ「レ」モッ「トッテクダレ」ンカ（聞、男、同等～目下に使う）／⑤コ「レ」モッ「トッテクダレ」センカ「ナ」ー（聞、男、同等～目下に使う）
- 8 7. 下さいませんか ○コ「レ」モッ「テチョーダエ」ンカ
- 8 8. 行かないと ○「ハ」ヨ {①イ「カント」ー／②イ「カ」ニャ（ー）（聞、名古屋農村部）}
- 8 9. 嫌な ○ス「カタラン」ス「カタランコト」イ「ワ」ズニ（嫌なこと言わないで）
- 9 0. 不足している ○タ「シナ」イ サ「フ」ノナ「カ」ミ「タラタ」シナ「ー」モンデ「サ」ー（財布の中を見たらお金が足りないものだから）
- 9 1. 心配で落ちつかない ○キ「ナラン」 「ハ」ヨカ「エッテカ」ントキ「ナランデ」〈早く帰らないと心配で落ちつかないから〉
- 9 2. だらしない ○ラ「シモナ」イ ラ「シモナ」ーモンキ「テゴザ」ル〈だらしない服を着ている〉
- 9 3. もてあます ○モ「チカネホ」ス 「オ」ーキナ「ニ」モツニ「モ」チカネ「ホ」ータ〈大きな荷物に持て余した〉
- 9 4. 信用しない ○ショ「ニセン」ア「ノ」シトワショ「ニセンホ」ーガ「エ」ー〈あの人は信用しない方がよい〉

Ⅲ. まとめ

- ① 否定の助動詞「～ない」は当地では～ン、～センであり、本調査では話者が女性であったので、女性が比較的よく使用する～センが多く出現している。イカン・イケセン（行かない）、フラン・フラセン（降らない）など。
- ② 否定の強調形「～はしない」は、「～ない」の～ン、～センに対して～セセンがあるが、あまり出現していない。ゴザラッセセン（来ない）。また～ヤーセンもあるが、これは名古屋市内でもかつての農村部でよく使われる表現である。イキヤーセン（行きはしない）、キヤーセン（来はしない）、アリヤーセン（ありはしない）など。
- ③ 否定の過去形「～なかった」はほとんど～ナンダである。イカナンダ（行かなかった）、ゴザラナンダ（来なかった）など。
- ④ 否定の過去の強調形「～はしなかった」には～セナンダがある。イケセナンダ（行きはしなかった）、ゴザラッセナンダ（来はしなかった）など。
- ⑤ 不可能表現では状況、能力に表現の使い分けのされないものがある。ただ、状況の方にやや強調する～ト（～しては（いられない））が入る表

現もある。

食べられない／食べることができない：タベレーセン（多）、タベラレ（一）セン／タベレーセン（多）、タベラレ（一）セン・タベトレーセン（多）、タベトラレセン

出られない／出ることができない：デレーセン（多）、デラレーセン／デレーセン（多）、デラレーセン

- ⑥ 打消の仮定条件「～なければ」は～ナの使用が多く、～ナケリャ（一）や～ニャ（一）は名古屋でもかつての農村部で使われており、～ナキヤは後年入ってきた表現である。

行かなければ：イカナ（多）

イカナケリャ（一）（名古屋農村部）

イカニャ（一）（名古屋農村部）

イカナキヤ（標準語）

- ⑦ 形容詞＋否定形はすべて連用形ウ音便化＋ナイ、もしくはその変化したものである。アツィーナー・アツナー（暑くない）、スズシュナー（涼しくない）など。

- ⑧ 推量の否定形～マイは当地では農村部で使われていた表現である。フラマー（降らないだろう）、アロマー（ないだろう）など。

- ⑨ スを用いての反語表現の使用頻度は少なくなったものの、シラスカ（知るものか）、イカスカ（行くものか）、アラスカ（あるものか）などに残っている。

（おおたうたこ 椋山女学園大学）